

世界初 GGAP 分類 15 品目(生産品目 22 品目)で一挙取得

株式会社アプレ（本社：北海道亀田郡七飯町、代表取締役：高橋廣介）は、独自の技術を駆使した無農薬水耕栽培において GLOBAL G.A.P.分類で 15 品目、アプレの商品構成で 22 品目において、2018 年 5 月 10 日 GLOBAL G.A.P.認証を取得しました。



【GLOBAL G.A.P.とは】

- 目的は食品安全性を高め、「持続可能な農業」を実現することです。
- 生産現場において「環境保全」「労働安全」「食品の安全性」の観点から日々の生産工程管理を適正化する行いです。GAP= Good Agricultural Practice : 良い農業の実践
- 欧州で 2001 年に EUREPGAP として始まり、2007 年に GLOBAL G.A.P.へ名称 を変更。現在では世界で最も普及している農場認証制度となっています。
- 海外の小売や製造業界では仕入条件として広く運用されており、農産物 に関する「最も信頼された安全基準」と位置づけられています。

【目的】

当社のモットーは、「おいしい、きれいを食卓に」です。当社の持つ独自の技術を用い食料の安定供給、安全、高品質を同時に実現し、世界の食糧難解決に寄与すべく技術改良、技術提供を行います。その証の一つとして GLOBAL G.A.P.を取得します。よく知られているように先に開催されたロンドン・オリンピックの食材はすべて GLOBAL G.A.P.認証品を用いていたと言われていました。そのような安全・安心な野菜を必要とする場に、当社の商品を積極的に提供していく所存です。

【認証取得農場】

北海道 亀田郡七飯町 東大沼プラント（930坪）

【認証取得品目】

- 葉菜類 : ほうれん草、小松菜、水菜、春菊、ミニ青梗菜、ホホワイトセロリ
- レタス類 : 結球レタス、リーフレタス、サニーレタス、フリルレタス、サンチュ
- 果菜類 : 大玉トマト、ミニトマト、ミニキュウリ、長ナス、米ナス、ピーマン、パプリカ
- ハーブ類 : 大葉、クレソン、バジル、スイスチャード